

＜中学校＞

- ・食事や起床・就寝時間など、基本的な生活習慣が不規則な傾向にあります。
- ・テレビの視聴やゲームをする時間、スマホなどの通信機器の使用が長時間に及ぶ傾向があります。
- ・宿題はしっかりと行っていますが、家庭学習の計画性に課題が見られました。特に、家庭学習の内容は、復習が主であり予習はあまり行われていませんでした。
- ・困難なことに失敗を恐れないで挑戦する気持ちを持っていないなど、自分に自信が持てずに将来への夢や目標を明確に抱けないという自己否定的な傾向が幾分見られます。

＜具体的な方策＞

- ◇予習、復習を一連とした家庭学習の定着をめざし、宿題や課題の提示、家庭学習ノートの活用、テスト前の学習計画書の提出など、家庭と連携した学力向上の取組に努めます。
- ◇将来の夢や目標が見いだせるよう、道徳や総合的な学習の時間、部活動等を通して、自分の生き方や在り方を考えるよう働きかけ、今後も豊かな心の育成に努めます。

● 児童生徒をより伸ばすための学校の取組（改善策）

＜小学校＞

【国語】

- ・書くこと（ノートやワークシート、プリントなど）を重視した授業を通して、書かれている内容を理解し、言葉を選んでまとめる力を身に付けさせます。
- ・引き続き、朝学習や授業での漢字練習や短文づくりを繰り返し習得するまで取り組みます。
- ・音読の時間を確保したり、朝読書や家庭での読書に取り組んだりして、内容を読み取る力や自分の考えを短くまとめて書く力を高めます。
- ・個に応じた指導の充実や主体的な取組を促す授業づくりに努め、効果的な家庭学習の充実を図ります。

【算数】

- ・学習内容の要点や数学的な考え方・見方の復習によって、計算力や答えの求め方等の基礎的・基本的な事項を確実に習得させます。
- ・操作活動によって段階的に考える場面を多く取り入れることによって、筋道を立てて説明する力や解決する力を身に付けさせます。

＜中学校＞

【国語】

- ・文章を読み取るための視点をつかませ、根拠を明確にして自分の考えを表現する学習活動の機会を増やしていきます。
- ・漢字や語句を正しく使って文章を書くこと、表現方法や語彙の広がりを意識した学習活動に取り組めます。
- ・テストで間違えた問題の解き直しを大切に、理解を深める学習に取り組めます。
- ・読書活動の習慣化をめざし、継続して朝読書や読書の仕方の学習に取り組めます。

【数学】

- ・基本的な計算問題を数多く解くなど、繰り返し学習に取り組めます。
- ・既習の数学的思考を応用し、発展的な問題を解決させたりして、理論立てて解答できるように指導します。
- ・必要に応じて習熟度別指導や個別指導を実施し、生徒自らがつまづきを克服できるように指導に努めます。

豊頃町の児童生徒の学習・生活の充実のために

- ◎学校では、学習規律の定着と同時に、基礎的・基本的な学習内容の確実な習得に努めます。また、学習の指導方法や授業の工夫・改善によって、子どもの学びの意欲を高め「わかる喜びを味わわせる」ように取り組みます。
 - ◎家庭では、学校と連携・協力して、子どもの生活習慣等（早寝・早起き・朝ご飯、手伝い、テレビやゲームをする時間）を見直すとともに、家庭学習の習慣化（まずは授業の復習を、次に予習を一連として）に取り組ましましょう。（参考「家庭学習の手引き」等）
 - ◎地域では、学校行事や四季折々の町内行事、日常の活動場面などにおいて、子ども達への温かい励ましの程、お願いいたします。
- ～本町教育の更なる発展のために、町民一体となった教育環境づくりに取り組みましょう！～

問合せ先 教育委員会教育課学校教育係 ☎ (579) 5801

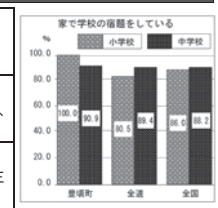
平成25年度
全国学力・学習状況調査の
結果の分析と考察

【豊頃町教育委員会・豊頃町教育研究所】
豊頃町の児童・生徒の
学力や生活習慣は？

本年4月22日に実施した平成26年度全国学力等調査の分析結果が8月末に示されました。各学校においては、既にこの分析結果を生かした学校改善の取組が進められているところですが、この結果から、本教育研究所では、町内各校の改善プランを尊重しつつ、豊頃町全体の教育環境づくりの観点から、子の学びを育む学校、家庭、地域への願いや期待を次のとおり整理しました。

● 豊頃町子ども達の学力等の傾向

小学校	国語、算数ともに正答率が全国平均に近付いてきています。今後は、習得すべき内容をより確実に身に付けることが大切です。そのためには、授業改善と家庭学習の習慣化が喫緊の課題と言えます。
中学校	国語、数学ともに平均正答率が全国・全道平均とほぼ同じです。全体としては、どの領域においても着実に習得できています。特徴として国語では「書くこと」の領域、数学では「数と式」の領域が着実に定着してきています。
全体	「家で学校の宿題をしている」の数値が、小中ともに全国全道を上回っています。家庭生活の中に学習時間の定着化が見られます。今後は、宿題の一步先の「自主学習」への期待が高まります。



＜小学校＞

国語 A（知識）

- ・故事成句の意味や使い方を着実に理解していることが優れた点として挙げられます。
- ・「話すこと・聞くこと」の領域や漢字の読み書きに課題があります。

国語 B（活用）

- ・「言語についての知識・理解・技能」の領域が優れています。
- ・国語 A 同様「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の領域に課題があります。

算数 A（知識）

- ・基礎的な計算能力は着実に身に付いてきています。
- ・「図形」の領域の中で、円周の長さを求める問題などつまずく傾向があります。

算数 B（活用）

- ・「数学的な考え方」を活用して説明したりすることを苦手とする傾向があります。
- ・「数量や図形」の技能を高め、さらに知識・理解を深めることが今後の課題です。

＜中学校＞

国語 A（知識） 国語 B（活用）

- ・「言語についての知識・理解・技能」の中では、とりわけ「書くこと」の領域が優れていました。特に漢字の読み書きが着実に習得できています。
- ・登場人物の心情や行動・言動の意味を正しく読み取り、理解することに課題があります。
- ・目的に応じて必要な情報を文章などから読み取ることに課題があります。

数学 A（知識） 数学 B（活用）

- ・「数量や図形などについての知識・理解」は、着実に身に付いています。
- ・図形の性質を、構想を立てて証明することができています。また、与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができています。
- ・資料の傾向を的確に捉え、事柄の特徴を数学的に証明することができています。

児童・生徒の学力の傾向
教科（国語、算数・数学）での傾向

● 児童生徒の学習習慣や生活習慣の傾向

＜小学校＞

- ・生活面では、基本的な生活リズム（「早寝・早起き・朝ご飯」）が身に付いてきています。
- ・家庭学習の習慣化に大きな進展が見られました。しかし、テレビ・DVD等の視聴時間と比較し、家庭学習に費やす時間はやや短く、低調なままです。
- ・予習・復習の時間が多いほど、学力の高さを示しています。また、学校図書室や図書館の利用率が高いほど、同様の傾向があります。
- ・新聞をほぼ毎日読んでいる児童（約2割）は、かなり学力が高い傾向にあります。
- ・「自己肯定感」はやや低調なのですが、「人の気持ちが分かる人間になりたい」と思っている子がたくさんいます。

～児童生徒質問紙調査から～

＜具体的な方策＞

- ◇学校では、「分かる・楽しい授業づくり」に努め、子どもの学ぶ意欲を高め、学ぶ楽しさを実感させるとともに、学習の仕方や学習習慣を身に付けさせるよう取り組みます。
- ◇家庭では、一日のテレビやゲームをする時間と学習に取り組む時間とのバランスを見直し、早寝、早起き、朝ご飯と同様に基本的な生活習慣に「家庭学習」を位置づけ、定着するようご指導願います。

広報とよこ 豊頃町の児童・生徒の学力や生活習慣は？

社協だより

役場だより

広報とよこ 豊頃町の児童・生徒の学力や生活習慣は？

社協だより

役場だより